

沖縄の明日をつくるのは 基地の跡地利用です

伊良皆 浜比嘉さんは土地連の会長を務めていらっしゃいます。私は軍用地問題に明るくないので、まず土地連とはどういう組織なのか教えてください。
浜比嘉 軍用地の成り立ちからお話ししましょう。1945年に太平洋戦争が終結し、疎開から帰って来た軍用地主は故郷が金網とフェンスに囲まれているのを見たわけです。さらに米軍は銃剣とブルドーザーで基地を拡大していったのです。
当初はまったく地料をもらっていないなかつたんですよ。そこで1948年、のちに沖縄市長となる桑江朝幸氏が動き出すんですね。ヘーグ陸戦法規の「私有財産はいかなる時でも尊重されなければならぬ」という理念に基づいて、民主国家たる米国は



はまひが いさむ
浜比嘉 勇
沖縄県軍用地等地主会連合会会長
1946年9月、沖縄市越来生まれ。東京電機大学電機学校卒。1986年沖縄市議会議員当選、現在7期目。2002年沖縄市議会議長。

地料を支払うべきだと。敗戦国の小さな島の、軍用地主が手に手を取って立ち上がり、1950年分からの支払いが始まりました。
伊良皆 5年間は軍用地料が全く支払われていなかったわけですね。
浜比嘉 同年から支払われるようになったものの「一筆評価」ということで、ものすごい低額で支払いが始まったんです。百坪地主だろが千坪地主だろが、一筆18B円。五筆持つていれば90B円。コーラ一本分ですよ。それでは大変だということで1953年、現在の土地連につながる「市町村土地特別委員会連合会」が組織されたのです。
伊良皆 なるほど、土地連は大切な土地を強制接収された軍用

沖縄には、軍用地を持っている人(＝軍用地主)が約4万人もいることをご存知ですか。来る11月13日、軍用地主の財産権を保護する団体である(社)沖縄県軍用地等地主会連合会(土地連)は、正当な権利主張と沖縄の未来の発展のため、宜野湾市のラグナガーデンホテルで総決起大会を開催します。それに先立ち、フリーアナウンサーの伊良皆善子さんが土地連の浜比嘉勇会長に大会の目的などについて聞きました。

安全・安心な土地の返還を ― 跡地利用は国策による新法制定を求める ―

地主さんたちが手を取り合って組織された団体なんです。ところで、返還後の土地はどのように使われていますか。
浜比嘉 66年もの歳月の間には、思わぬ土壌汚染を被っていたりします。先日、ベトナム戦争で使った枯れ葉剤をハンビー地区に埋めたという退役軍人の証言が出て大騒ぎになりましたね。ダイオキシンは猛毒で自然分解されにくく、土壌に長く残り、人



土地連役員室での対談

日本政府は、日米安保に基づき、米軍が1945年から強制的に使用して来た沖縄の軍用地を復帰の年に肩代わりした。いわば国策で肩代わりしたわけですから、返還した後も国策できっちり跡地利用し、使用収益が出るまで給付金を払ってしっかり活性化できるように形を作してほしい。それを私も多県知事にお願

体に入ると蓄積されて人々を苦しめるといいます。沖縄の軍用地が返還される際には、果たしてその土壌が安全なのか、跡地に人が安心して住めるのかをしっかりと調査してもらいたい、汚染されていた場合はきっちり浄化してから返してもらいたいと思います。
伊良皆 返還にあたっては、跡地利用も大きな課題になるのでしょうかね。
浜比嘉 那覇新都心や北谷の美浜・ハンビー地区の例を見る限り、返還跡地をしっかりと活用できれば経済の活性化になるわけですが、普天間飛行場は那覇新都心の2・4倍、480ヘクタールという広大な面積です。それを都市計画して跡地利用するというのは、軍用地主の手だけでは難しい。宜野湾市もやりたいけれど財政が厳しい、県も苦しい状況です。

返還跡地対策への新法制定と賃貸料算定方法見直し等の実現に向けた

軍用地主総決起大会

とき **11月13日(日)**
午後1時30分開催(開場12時)

ところ **ラグナガーデンホテル**
電話098(897)2121 宜野湾市真志喜4-1-1

主催：沖縄県軍用地等地主会連合会・沖縄県軍用地主政治連盟

評価は接収当時の地目のまま ― 地料の算定方法見直しが不可欠 ―

伊良皆 土地連が組織されてから、軍用地料は正当に支払われるようになったのでしょうか。
浜比嘉 本土復帰の1972年、米軍基地にかかる経費を日米安保の継続のために日本政府が肩代わりすることになり、沖縄の軍用地主と契約を結んだわけですが、しかし、比謝川から北は「生産価格方式」を採用し、戦前の登記簿簿本の地目を基準にした。宅地だったところは宅地扱い、畑だったところは畑扱い、山林だったところは山林扱いで、お支払いしようとした。これは接収された当時の地目のままで評価されています。普天間飛行場を移設しようとしたもので93%が山林原野だったものから、今でも一坪あたり年間460円でも一坪あたり年間460円ではないんです。北部訓練場などは一坪あたり年間たったの140円です。

進法(仮称)です。国は責任を担ってそれを実行してもらいたいというのが、私も軍用地主の思いです。



いらみな ぜんこ
伊良皆 善子
有限会社プロジェクトZenko
代表取締役
現在、RBC、ROK、FM沖縄などで6本のレギュラー番組を持つ。式典、祝賀会、結婚披露宴などあらゆるジャンルの司会を務め、19年前から重説作者のふるさとを全国に訪ねて取材している。
重説の背景にある愛と平和のメッセージを多くの人に語り継いでいくことにこだわり、重説コンサート、話し方教室、講演活動も積極的に取り組んでいる。

もう一つは、不当に安い沖縄の軍用地料を1.96倍まで上げてもらうかと国へ要求していること。しかし、国からは1.1%増の回答しかありません。こんな屈辱的な数字を受けて納得するわけにはいきません。
軍用地主の皆さんには、一人でも多く総決起大会に参加してほしい。これは皆さんの問題を解決するための大会です。一緒に頑張って闘おうではありませんか。また、大会には軍用地主だけでなく、県民の皆様もご参加ください。
伊良皆 沖縄の未来につながる第一歩になるかも知れませんが、本日はとても勉強になりました。

